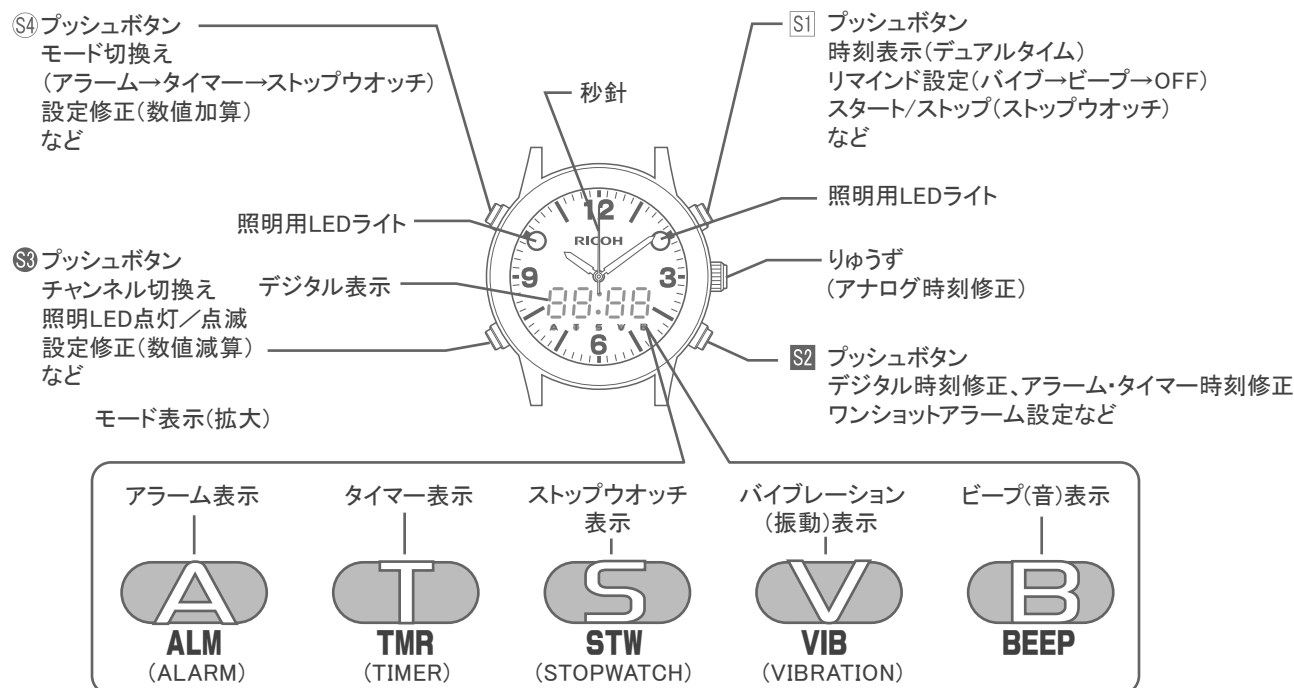


時 計

時間精度	平均月差±20秒以内 常温携帯(+5℃～+35℃) 充電時は室温により精度が若干プラス・マイナスすることがあります。	フル充電での持続時間	約1ヶ月使用可能 1日の使用条件(フル充電時) デジタル時刻表示:9秒、 バイブレーション又はビープ:30秒、 照明機能:20秒 ※使用条件により持続時間が短くなることがあります。	充電システム	電磁誘導方式
作動温度範囲	-5℃～+55℃			動作環境	0℃～+40℃
使用電池	二次電池 1個	駆動方式	ステップモーター式	材質	プラスチック (ABS樹脂)
水晶発振周波数	32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)	付加機能	過充電防止機能 充電警告表示機能	電源電圧	AC100V～240V (50/60Hz)
				消費電力	2.0W(充電時)
				使用環境	室内(風呂場、台所など高温多湿ではないところ)

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。



デジタル時刻表示とモード・チャンネル構成について

■デジタル時刻表示

SIボタンを押すことで
通常表示→月 日→時:分→秒→デュアルタイム(dual)に切り替わり5回押すことで通常状態に戻すことができます。
デュアルタイムとは二つの異なった時刻を表示する機能です。

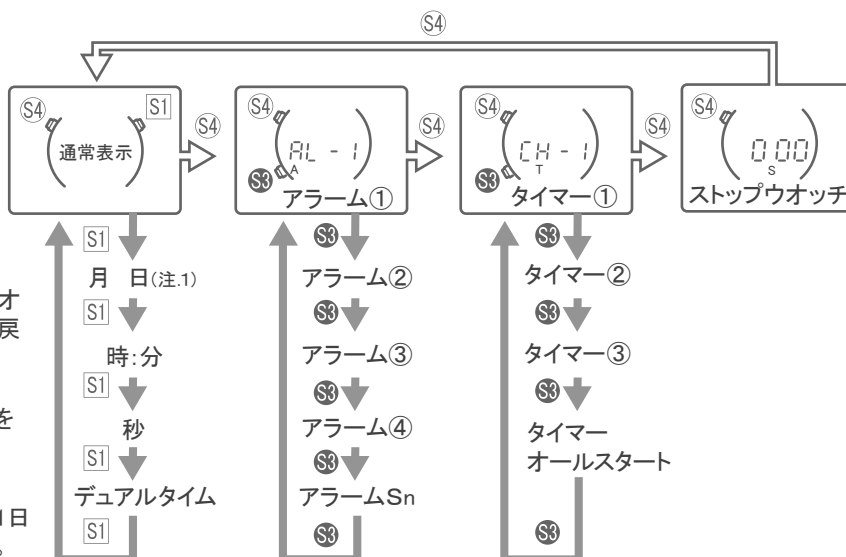
■モード・チャンネル構成について

S4ボタンを押すことで
通常表示→アラーム→タイマー→ストップウォッチに切り替わり4回押すことで通常表示に戻すことができます。

表示中にS3ボタンを押すことで
アラーム・タイマー、各モードのチャンネルを切り替えることができます。

(注.1)カレンダー表示について

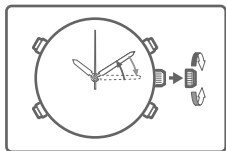
この時計は2009年1月1日から2099年12月31日までフルオートでカレンダー表示を行います。



時刻の合わせ方

■アナログ時刻の合わせ方

時刻合わせの際はアナログの時刻を合わせた上でデジタルの時刻を合わせると時刻修正が簡単に行えます。



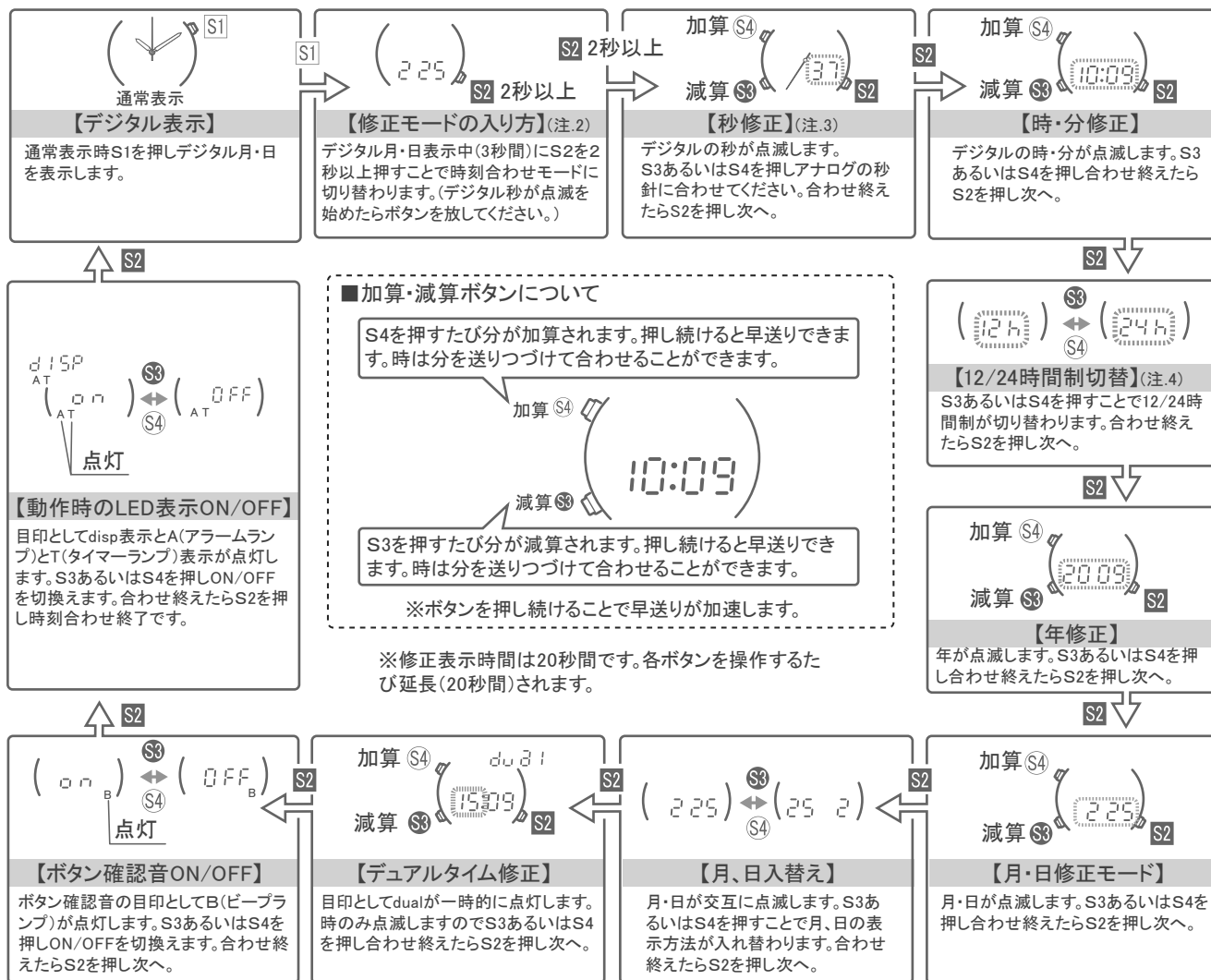
アナログの秒針が0秒のところでリゅうずを引き出し秒針を停止させます。リゅうずを回して時・分針を正しい時刻に合わせて下さい。

※時刻合わせの際は正確な時刻より、5～10分程度進めてから、正しい時刻に合わせてることにより正確に合わせることが出来ます。
(時報と同時にリゅうずを軽く押し込んでください。)

※リゅうずを押し込んだ際にデジタルの秒は00となります。00～29秒の間は分は繰り上がりませんが30～59秒の間は分が繰り上がります。

■デジタル時刻の合わせ方

アナログの時刻修正が完了したら、デジタル時刻を合わせます。



(注.2) デジタル修正モードへの入り方

デジタル表示中(月・日、時・分、秒、デュアルタイム)どこからでもS2を2秒以上押すことで修正モードに入ることが出来ます。

(注.3) デジタルの秒修正について

説明書通りにアナログの時刻修正を行った時点で、アナログ時計の秒針とデジタルの秒は同期していますので修正の必要はありません。

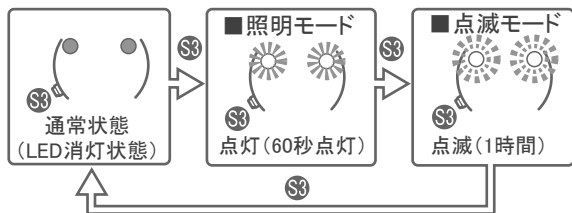
デジタル秒修正が必要な場合は、アナログを0秒で時刻合わせをしなかった場合や、デジタルのみ修正を行う場合です。

(注.4) 12/24時間制表示切替について

デジタル時刻表示・デュアルタイム表示に適用されます。各修正モードでは24時間制での設定となります。

照明機能説明

2つの照明用LEDライトが付いています。ボタン操作(S3)で点灯、点滅など切り替えることができます。



※照明モードでは点灯開始から2段階で明るくなるように設計されています。
 ※充電量が少なくなると、照明が暗くなったり残照時間が短くなる場合があります。さらに充電量が少なくなると照明LED点灯/点滅ボタンを押しても照明がつかなくなります。このような場合は、充電を行ってください。
 ※デジタル表示中は照明機能が使えません。
 ※照明機能使用中は他の機能は使えません。

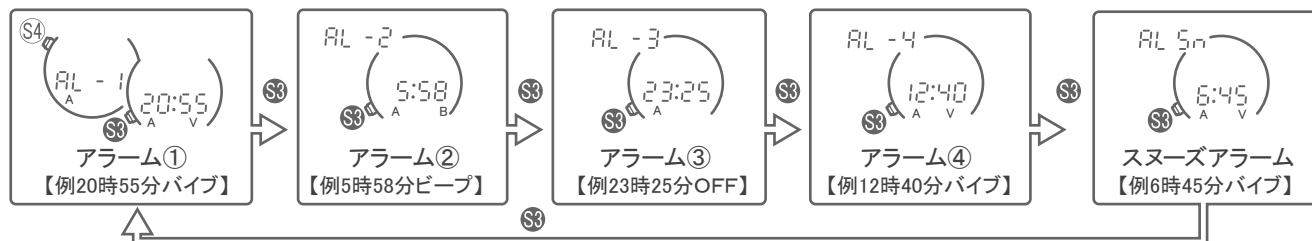
注意 ※光を直接目に当てたり長く見つめないでください目を傷める原因となります。

アラーム機能説明

5つまで登録可能なマルチアラームです

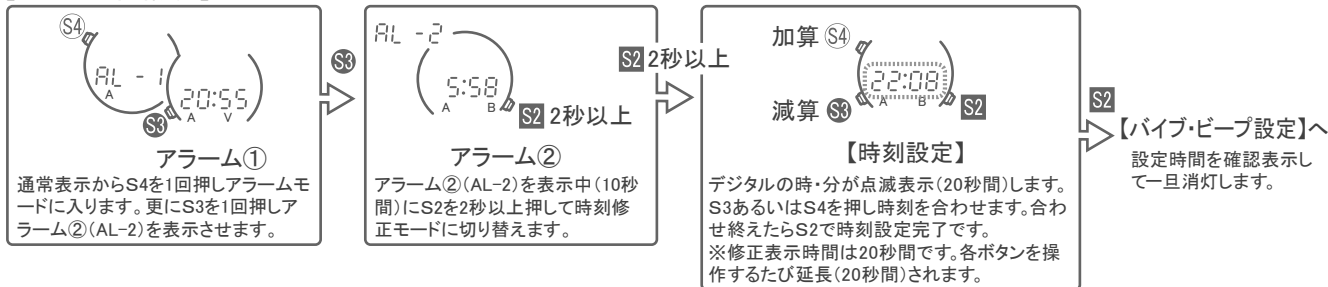
■アラーム表示

通常表示からS4を1回押すとアラームモードに入ります。更にS3を押すたびアラーム②→アラーム③→アラーム④→スヌーズアラームを表示致します。5回押すことでアラーム①に戻すことができます。



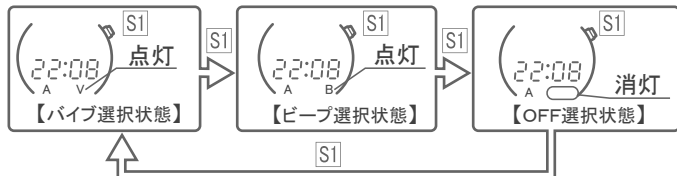
■アラーム設定

【アラーム時刻設定】※アラーム②を22時08分のビーブに設定する例をご説明いたします。



【パイプ・ビーブ設定】

アラーム表示中にいつでもS1を押すことでパイプ→ビーブ→OFFの切換えが行えます。



■アラーム停止方法

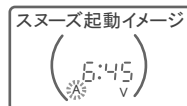
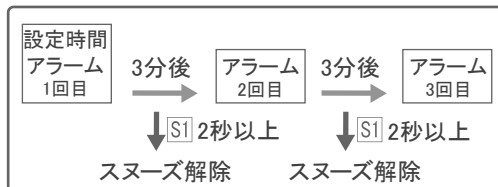
アラーム動作時間は30秒です。停止するにはいずれかのボタンを1回押してください。

※24時間計リピータアラームです。一旦停止いたしますが翌日同時刻にアラームが動作します。完全に停止させるには【パイプ・ビーブ設定】をOFFにして下さい。

■スヌーズアラーム(ALSn)について

5つ目のアラーム(ALSn)は目覚ましに便利なスヌーズ機能付きです。設定時刻動作後3分おきに2回動作いたします。

アラーム時刻設定方法はアラーム①～④と同じです。アラーム動作時間は30秒です。アラーム動作を止めるにはいずれかのボタンを1回押してください。スヌーズ機能が働きアラームマークが点滅開始いたします。



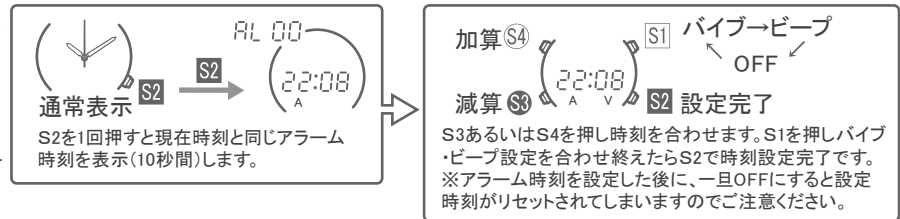
スヌーズ機能を止めるためにはS1を2秒以上長押ししてください。アラームマークの点滅が消灯したのが目印です。
 ※他の機能の操作(表示)中にS1を2秒以上押しても、スヌーズ解除できません。

※24時間計リピータアラームです。一旦停止いたしますが翌日同時刻にアラームが動作します。完全に停止させるには【パイプ・ビーブ設定】をOFFにして下さい。

ワンショットアラーム機能説明

■ワンショットアラームについて

つねに現在時刻からのアラーム設定が行え、ボタン操作を極力省きクイックなアラーム設定が行えるアラームです。
リピート機能はありませんので一回だけ直ぐにアラームセットしたい時などに便利です。
アラーム動作時間は30秒です。動作中に停止するにはいずれかのボタンを1回押してください。

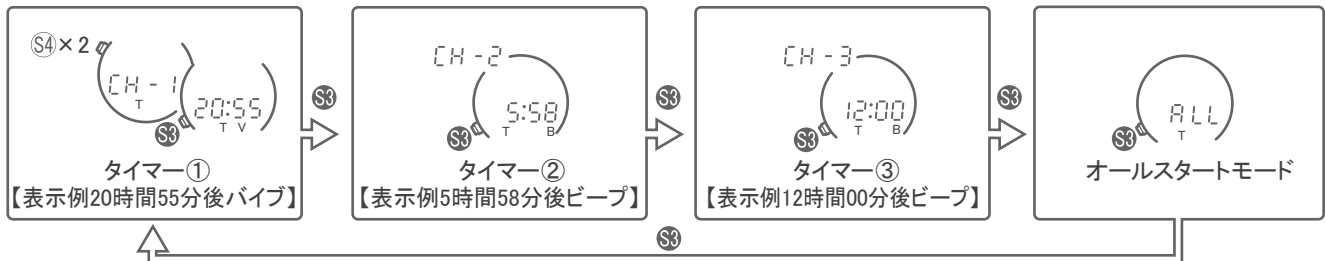


タイマー機能説明

設定数は3つ、設定時間から減算されていくオートリピート付きカウントダウンタイマーです。設定時間は最短1分、最長23時間59分です。

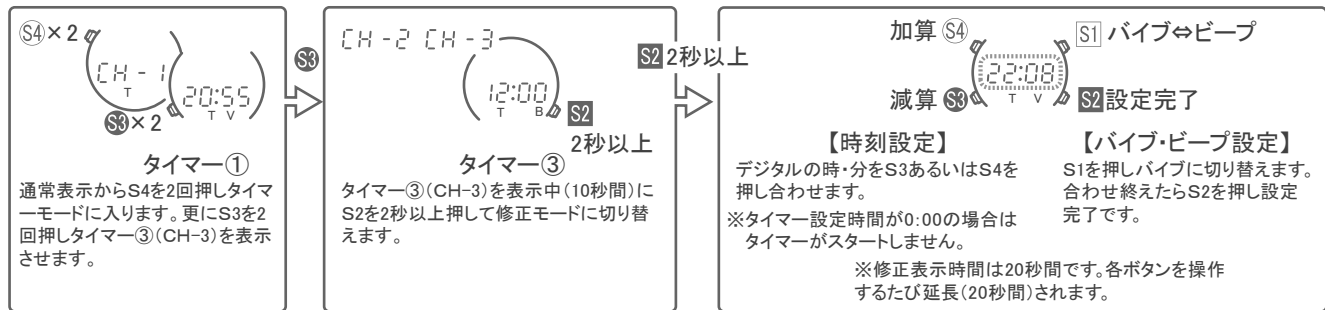
■タイマー表示

通常表示からS4を2回押しタイマーモードに入ります。
更にS3を押すたびタイマー②→タイマー③→オールスタートモードを表示致します。

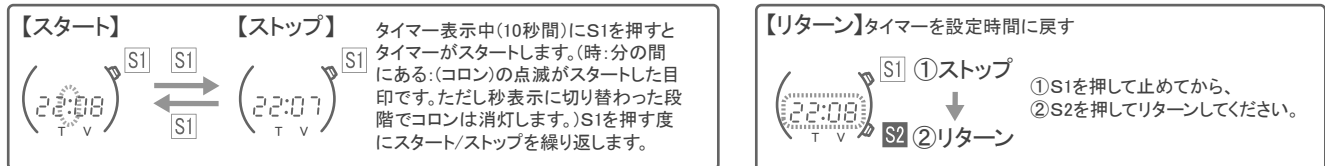


■タイマー設定

※タイマー③を22時間08分後パイプに設定する例をご説明いたします。



■タイマー使用方法

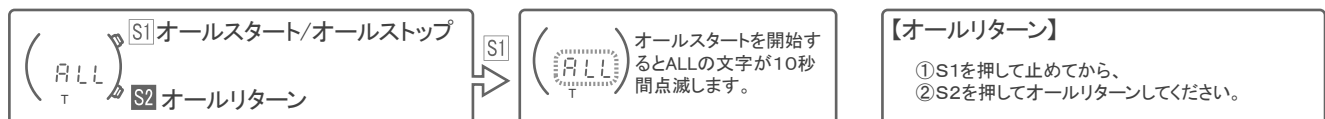


■タイマーの停止方法

タイマーの動作時間は30秒です。停止するにはいずれかのボタンを1回押してください。動作したタイマーを表示します。
※このタイマーはリピート機能つきです。タイマー動作を停止させただけでは繰り返し動作します。
完全に停止させるには動作しているタイマーを表示させストップしてください。

■オールスタートの使用方法

設定した全てのタイマーを同時にスタートするモードです。※オートリピートは動きません。
※オールスタート動作時、個別のタイマー操作は出来ません。



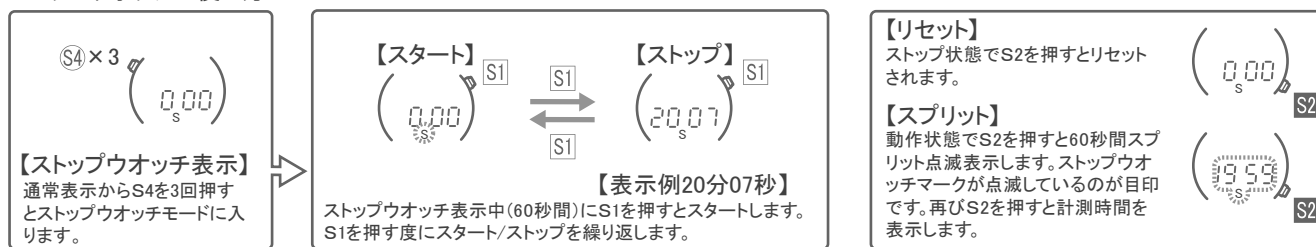
オートOFF機能

アラーム・タイマーのパイプ・ビープ設定がONの場合において1週間以上ボタン操作が無い場合、パワーセーブモードが働き出力をせずに節電します。ボタン操作を行うことでオートOFF機能から復帰します。(各機能の設定内容は記憶しています)

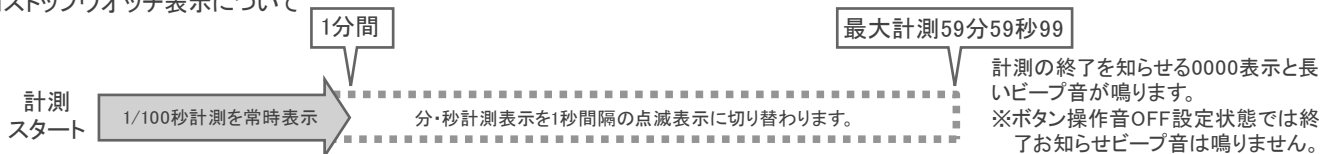
ストップウォッチ機能説明

最大計測59分59秒99まで計測可能な1/100秒ストップウォッチです。

ストップウォッチの使い方



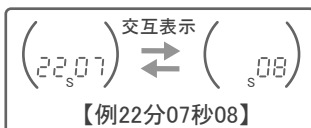
ストップウォッチ表示について



※スタート表示、ストップ表示、スプリット表示の場合、表示時間は60秒です。それ以降は通常表示(LED消灯)状態に戻ります。消灯後も内部で引き続き計測や記録を保持していますのでS4を3回押しストップウォッチモードにすることで再表示することができます。時計が止まらない限り、計測時間は記憶しています。

計測時間の交互表示について

スプリット及びストップを押すと計測時間が1分以下の場合は、秒と1/100秒を点滅表示します。計測時間が1分以上の場合は分・秒と1/100秒の交互表示を行います。



モードの切換え

ストップウォッチ使用中に他の機能を同時に使う場合や節電の為にストップウォッチ表示を消灯させたい場合はS4を押してモード切替を行ってください。(消灯しても時計の中で最大計測まで計測し続けます。)

デモンストレーション

バイブレーション・ビープのデモンストレーション(30秒間)を行えます。

■バイブレーションデモ……S1+S3を同時押し

■ビープデモ……S2+S4を同時押し